

# 平成30年1月定例教育委員会議事録

(白石町教育委員会会議規則第16条及び第17条の規定により作成)

- 1 日 時 平成30年1月22日(月)午前9時30分  
役場3階 会議室4
- 2 出席委員 北村教育長 稲佐委員 大串委員 下田委員 松尾委員
- 3 事務局職員 吉岡学校教育課長 千布生涯学習課長  
石橋主任指導主事 中村指導主事  
原学校教育係長 川畑庶務係長
- 4 前回議事録の承認  
12月定例教育委員会の会議録 【原案どおり承認】
- 5 教育長の報告 別紙資料のとおり
- 6 会議に付した議案  
付議第1号 平成30年度給食費について  
付議第2号 準要保護の認定について
- 7 動議の提出者 なし
- 8 議事の概要 別紙資料のとおり
- 9 議決事項 付議第1号から付議第2号すべて議決
- 10 その他
  - ・事務局からの報告
  - ・傍聴者 無し

1 開 会 9:30  
石橋主任指導主事

2 前回議事録の承認 9:30  
1 2月定例教育委員会の会議録を資料により説明  
**委員全員承認**

3 教育長の報告 9:31  
(前回以降の主な動向)

新しい年もあつという間に下旬になり、あと1週間で節分です。インフルエンザも、今日も須古小学校の1年生が半数ほど休んでいるという事で、先週から引き続き学年閉鎖を延長するという状況です。

12/28 消防年末警戒（午前2時まで ～30日）

1/6 白石町消防出初式

今まで一町民として、知らなかったということがありました。地域住民の安心安全のための陰ながらの貢献といえますか、特に年末警戒は3日間でしたが、2時まで頑張っていたいておりました。出初式は、山口知事も参加され、およそ800名の出席、白石町は団員が1,169名。佐賀県は、消防の組織率が全国ナンバー1、白石町は県内で2番目のようです。吉野ヶ里町が1番です。仕事をしながら本当に頑張っていたいていることに、改めて団員の皆さんに敬意を表したいところです。

1/10 都道府県対抗男女駅伝大会選手推戴式

先日、都道府県対抗駅伝の男子がありました。その1週前が女子でした。推戴式があり、本町関係では、鳥栖工業の森君、白石高校の平君、女子で鳥栖工業の田中さん、あと一人筑波大学の平井さんが、突然のインフルエンザで出場ができませんでした。森君は結局走らなかったようですけど、平君と田中さんは、非常に頑張ってくれていたようです。

(問題行動等報告)

(1) 問題行動

問題行動ですけど、今年度1件の報告が初めてございました。6年生の火遊びです。六角で火事騒動があつて、ちょうど六角川の近くですけど、外壁が焦げる程度で終わったという事で、大きな惨事にならずに済んで幸いでした。ちょっと子どもの火遊びが、前回も申しましたけど廻里津の方でシュロの木が燃えたとか、そういうのがあつていますので、繰り返し注意をお願いしているところです。

## (2) いじめ問題

「いじめ」について、別添資料をご参照ください。小学校でNo.10、11 新たに報告をされています。冷やかし、悪口です。ただ、六角小のNo.10 これは訴えはあったが、校内で色々調査した結果、実際の行為は確認できなかったという事で、覚知のみとされたようです。有明西小のNo.11 は、仲間外し、集団による無視。これはもう、すでに謝罪、和解等があつて、学校を休むとか大きな事態に発展していないようです。中学校が2つです。有明中の1年生の女子、体育の時に体育のバックとかスリッパを隠す。これは、学級も部活も違うようです。すけど、これもきちんと謝って、通常登校が出来ているということです。それから、白石中の1年生男子、部活が下手とか、アレルギーのことでからかわれたということが、部活の中であつているようです。ただ、これもこのことで休むとかいう事はなく通常の登校が出来ています。いずれにしても、アンテナを高くして、関係性で躓いているところには、「どうかしたのか」という声かけをしていただくという事で、今のところきちんと対応していただいているところですよ。

## (3) 不登校

資料を参照ください。今は、もう休んでない子もいますけど、一応配慮をするという事で、小学校が4件、中学校が22件で、そのうち完全不登校が、小学校が1、中学校で6件出ております。中学校では、前月より改善というのが、6件、それから、登校できるようになっていきますというのが2件ありますけど、やはり、粘り強い、あきらめない、という関わりを引き続き続けていかなければならないと思います。教育委員会としては、どうしても就学してからというのは、なかなか難しいので、とにかく出さないという事で、最初休み始めたころの支援というのにまず力を入れていただきたいのですが、併せて、もっと小さい頃の、幼児の頃の関りというのも考えていかなければならないという風に思っております。小さい頃から、自信をつけて、少々のことではへこたれないという事で、幼保小連携なども新たな施策として考えていかなければならないというところを、考えているところです。

(杵西・藤津地域教育長会より)

資料を添付しております。特に細かいことは申し上げませんが、後程ゆっくりご参照いただければと思います。

(1) 佐賀県いじめ防止対策研修会の実施報告について

(2) 交通事故発生(加害等)状況調べ<教職員>

残念ながら、12月も小中、8件、2件という事で、急に減るということにはなっておりません。発生率が全教職員に対して2.3%ほどですが、実はこの中で24歳までの方の発生率が6.1%です。ちょっと、若い方の運転が荒いという傾向があるのかなあと感じているところです。

(3) 平成30年度学級編制一覧

(4) 平成29年度杵西・藤津地域人事異動協議会計画

いよいよ人事異動が動き出します。2月2日第1回の人事異動協議会からスタートしまして、最終3月26日の第6回まで、この計画でスタートをします。1回目の会議の1時間前からは、合同会議という事で、本町からも稲佐職務代理が出席していただきます。

(その他)

(3) 町功労者表彰一覧

先日、町の功労者表彰がありまして、その時の表彰者の名簿をつけております。この中の、善行表彰で北村初次さんが白石小学校の方へ図書購入費という事で200万円寄付をいただいております。お孫さんがお病気で昨年亡くなられてまして、是非ご活用くださいという事です。お孫さんの名前の文庫という形で、いっぺんに使わずに5年、10年間のスパンくらいでずっと増やしていくようなことを考えられているようです。

(4) 2017白石町10大ニュース

(5) 子どもの頃の体験がはぐくむ力とその成果に関する調査研究

子どもの頃の体験が、自己肯定感いわゆる自信と少々のことではへこたれないという風なことに、いかに大きく影響しているかという事をきちっとデータをとって示していただいているものがありましたので、参考に示しているところです。やはり色々な子ども会の活動とか、あるいは、教育委員会の施策とか公民館とかの施策等にも、活かしていかないといけないと思っていますところ。

(6) 新聞記事より

社会を明るくする運動作文コンテストの小学生の部で須古小学校6年生の筒井さんが最優秀賞を受賞されました。その文ですけど「応援の目」というものを日ごろから頭に入れて生活をしておりますという事で、いわゆる、互いに認め合い励ましあう事が大切だと、励ましあう事でみんなが笑顔になれるのではないですか。というような趣旨で書いてくれますけど、すごい中身の深い文章だなあと、改めて感じさせていただいたところです。

(1) 学校統合基本構想(案)について

その他の連絡になりますが、今回、小中学校の統合の基本構想をお示ししますと前回言っておりましたが、申し訳ありません次回まで延期させていただきますと思います。今、この基本構想については、学校教育課で2回、生涯学習課を含めた教育委員会事務局で1回検討会を実施しております。今月末に2回目を開催して、2月1日には教育委員会事務局と企画財政のメンバーで先進地視察に行く計画があります。みやま市と大牟田市です。統合をされた先進地視察に伺うという事で、少しずつ進めておりますので、

申し訳ありませんが、次回の2月の定例教育委員会でお諮りさせていただきたいと思います。もちろん、それ1回では無理ですので、大所高所から、あるいは、色々な角度からご意見をいただいて、それが教育委員会の案として、今後、具体的に進めていくベースになると思っておりますのでよろしくをお願いします。

それから、

(2) 福富小中一貫校開校の中止について

福富小中一貫校開校の中止についてという事で、急遽連絡させていただきましたけど、これにつきましては、先般の定例議会の方で統合の方針を示しました。こういう時期に、一貫校開校という新しい看板を掛けるということが、福富地域はもとより町全体に、「では福富地域は学校統合には関係ないのか」というような大きな誤解を与えてしまうという事で、そのことで非常にその收拾のために必要以上のエネルギーが必要になってくるという事で、こういう措置をとったところです。心配した通りですけど、福富の方では、「それでは、その後、義務教育学校になるのか」とかいう、そういう噂まで出ていたということも聞いております。ただ、引き続き「小中一貫」というのは、義務教育を小と中を分断せずに9年間で子どもたちを見ていく、学習指導、道德教育、生徒指導、あるいは、家庭との連携、地域との連携含めての事です。引き続き研究としては進めていただきたいと考えているところです。これにつきましては、議員説明も終わりましたし、役場庁議でも連絡をしました。学校の方にも連絡して校長先生の方から降ろしていただいている段階です。

別紙で山口よしのり知事による県政報告会のご案内という事で付けております。知事を迎えての県政報告会というのが実施されますので、よろしければご参加願えませんかということですので、ご検討いただければと思います。

大串委員：六角の火遊びですけど、これは何人ですか。

北村教育長：一人です。

松尾委員：何をしたかったのですか？煙草を吸いたかったとか。

中村指導主事：煙草とかではなくて、ただの火遊びです。お兄ちゃんが、中学1年生がいるんですけど、この子は一緒ではなくて、その後一緒にいたということなので、実際にその火遊びをしたのは、弟だけです。

北村教育長：中郷団地でしたよね。

千布課長：消防署から入ったところに六角の団地がありますけど、その横に町の文化財の発掘した遺跡などを保管している古い倉庫があります

が、かなり古い倉庫で、外壁が亜鉛鉄板のところ少し焦げたようになっています。

中村指導主事：暖をとるとか、そういう風な感じではないと思います。

#### 4 付議事項の協議 9:54～

##### 付議第1号

##### 平成30年度給食費について

大串係長：資料に沿って説明。

昨年度同様小学校1年生から5年生まで、8月を除いて4月から3月まで、月4,200円、年額46,200円。食数184食で1食単価が251円。小学校6年生については、完全無償化という事で0円。食数は同じく184食。

中学校1年生から2年生については、毎月4,900円で年額53,900円。年間食数185食で1食単価が291円。中学校3年生についても、給食費完全無償化という事で0円。食数については179食となっております。

子育て支援を目的として、平成28年度以降は小6、中3については、給食費を完全無償化としております。それと、昨年12月19日に学校給食運営委員会を開きまして、その委員会の中で平成30年度の給食費につきましては、ご承認をいただいているところです。

稲佐委員：昨今、市町どこでもと言っていいくらいに、今回嬉野市の市長に当選された村上氏も無償化ということをやられていたようですが、完全無償化というのは、最終的には全部無償化するという事を目標にされているのでしょうか。今のところ小6と中3ですけれど。

大串係長：今のところ、小6と中3ですけれど、最終的には今の状態ですと継続すると、予算的なこともありますので、全部するという事は今のところ考えておりません。

稲佐委員：私の個人的な意見ですけれど、確かに給食費をこうやって手助けしてくれると、行政がしてくれるということは、各家庭においては非常にありがたいことかとは思いますが、ある程度、やはり個人々人に対してもそういう出費するところは、あたり前だよと食べることに、衣食住について当然のことだよという事で、支払わせるということも必要でしょうし、まだ、他の面でもお金を使ってもいいのではと思ったりもします。今、どこの市町でもそういった傾向が強くなってきておりますので、でも、給食が実施されてい

ない地域は何もないわけですね。佐賀市内とか、ではその辺りとのバランスはどうかなと思いました。

北村教育長：今、稲佐委員から出されました質問と同じようなことが、議会でも出されました。今こういう状況ですけど、今後拡大することを考えているのかと、しかし、今拡大の方向は考えてないという事で回答があっていたと思います。

稲佐委員：小学校の最終学年と中学校の最終学年だけということですね。

### 委員全員承認（付議第1号）

#### 付議第2号

##### 準用保護の認定について

大川内主任：資料に沿って詳細説明。（1件）

厳正なる審査の結果1件認定。

### 委員全員承認（付議第1号）

#### 5 その他 10:12

##### (1) 県学力・学習状況調査（12月調査）結果について

中村指導主事：資料に沿って説明。

##### (2) 2月行事予定表

川畑係長：資料に沿って説明。

石橋指導主任主事：2月の行事予定の説明がありましたが、2月16日の教育委員会については、予定どおりで進めてよろしいでしょうか。

（委員全員承諾）

##### (3) その他

稲佐委員：個人的な分野も入っておりますが、1月17日2時30分に町会議員の友田議員さんが私のところに見えられました。というのが、私が毎週日曜日に勉強会というのをボランティアでやっております。だいたい、今15名ほど来ております。かつては、その中に不登校傾向あるいは、不登校の子が来ておりました。そういったことで不登校とか引きこもりのところに個人として携わっているものですから、それを聞きつけてこられたのであろうと思いましたので、話をしていましたら、本町の不登校について、議会で質問もしたけれども、その数値は分かるが中身がわからないからという事で私のところへ来られましたものですから、私が知る限りでは、事例

をあげて、A君、B君、C君という事で事例をあげて話は致しました。そうしたら、里親のうんぬんとか言われて、そういったことのお考えはありませんかと言われ、私も個人的にそこまでは出来ないといいましたが、ただ、ボランティアとしては今後もやっていきたいと思っております。だから、官と民が一体化できないかみたいなことを言われました。だからコンフォート愛がありますよ。と私は個人的に各学校に、その子どもと関わった時は、各学校に学校を訪問して校長先生なり担任の先生なんかにお互いに情報共有しながら協力してやっております。というような話をしました。そうしたらわかりました。という事で帰られましたので、議会等でそういった話があったら、こういったことがあったという事でご確認ください。以上です。

北村教育長：ありがとうございました。

石橋主任指導主事：ありがとうございました。不登校の件につきましては、12月議会でも質問がございまして、その時には11月現在での本町内の小中の不登校の子ども達の数はお示しいたしております。理由については、詳細なところまでは申し上げられなかったのですが、問題行動等ではなく多くが心理性によるもので、障害等なものの疑いもある場合があると話をさせていただいたところです。

稲佐委員：ただ、情報が独り歩きして、噂になってはいけないからですね、例えば、「何々さんのところの息子は行っていない」とかなってくると、これは、色々な問題になってきますので、私に関するところで、だから私もその範囲の中で事例をあげて、A君、B君、C君で話をしましたけれども、そういう事で。そういう様な提示の仕方でもいいと思います。これを具体的に言っていたら、それこそ広まっていきます。

石橋主任指導主事：ありがとうございました。

下田委員：一つお願いがありますが、学習の状況調査などは、よく数値化されたものを目にしますが、子ども達が今、どれくらい自立しているのか、どれくらい家のお手伝いが出来ているのだろうかというのが、私たちの目に触れることがなくて、やはり勉強も大事ですけども、もうひとつ、日常的生活、子ども達が今どのような現状にあるのかというのを数値化したものを目にしたい、見たいというお願いと、もう一つは、報告ですが相談支援事業というのをやっています。最近うちの相談支援専門員が、町内の学校から会議に出席してくださいという依頼が出てきたという事で、気になる子ども達や障害を持った子供たちの個別支援会議をする時に、こういう民間事業所に声

をかけていただいて、みんなで一緒に検討をして解決に導こうという学校側の配慮をいただいていることを喜んでいましたので、ご報告させていただきます。

石橋主任指導主事：2点目の件については、現状では、各学校で色々、保護者はもちろんですけど、地域関係、機関との連携というのを非常にこう、コミュニティ・スクールの一環として進めておりますので、引き続きそういう形で連携をとりながら情報共有を出来るように勧めていきたいと思っておりますので、ご協力のほど引き続きお願いいたします。

1点目の生活習慣に関わるアンケートにつきましては、ちょっとスタートが少し遅れてしまったかなという気持ちもありますが、コミュニティ・スクールも2年間をそろそろ終えるという事で、明日の校長会で学校にお願いをして、町教育委員会でも生活習慣についての簡単な調査を行おうと思っております。考えているのは、家庭でのあいさつが出来ているのか、そして、4つの実践目標をこの前お示ししましたが、手伝いが出来ているのか。出来ていたらどういう手伝いをしているのか。家庭学習はどういう状況なのか。まあ、自主学習も含めてですね、そして最後にお子さんの自力登校の状況がどうなのか、アンケートを取って数値化をして現状を把握したいと思っております。教育委員会としては、そういったところを考えております。また、学校の方では、学校独自で定期的にその生活習慣等の調査もかけていらっしゃると思いますので、引き続き学校だよりの情報提供も続けながら目に触れる形をとっていきたいと思っております。

下田委員：朝、自分で起きているかという。一番基本で、自分が反省なんです、ギリギリになっても起きてこないため、ついつい「間に合わないよ、起きてきなさい」と言ってしまう。でも、外に出て一人暮らしになったら誰も起こしてくれる人はいないのに、今、家でちゃんとさせないといけないと思うけど、なかなかそれが出来なくて。

北村教育長：付け加えですけど、貴重なご意見ありがとうございました。自立につきましては、先ほど言いましたようにアンケート等で子どもの状況の一部ですけど、いわゆる見える化。子どもの生活の様子が見える化出来るような形で、課題等を町全体で共有できたらと思っております。特にお手伝いについては、私も常々言っていますが、やはりこの辺で、子ども達の自信とか自己肯定感が高まるのではと常々思っております。ですから、そういう場を意図的に与えていただかないと、そしてやはり、「ありがとうお母さん助かったよ」と

か「あなたがこういうことをしてくれたから、おじいちゃん、おばあちゃん大喜びよ」というようなことで、家庭内での自己の存在感ということ、きちっともてるというようなことが、やはり、単なる褒めるではなくて、自信につながっていくと思います。自信は自己の成長よりも貢献感だと昔から言われますけど、この辺が進めば不登校ももう少し改善できるのではないかと淡い思いもありますが、いずれにしても、一部ですが子どもたちの様子が見える化して、課題と今後の手立て等を共有できればと考えているところです。ありがとうございました。

6 閉 会 10:25

石橋主任指導主事